



虹の架け橋

平成30年7月2日
印西市立西の原小学校
校長室便り No. 9

学びの基本「きく」力

～聞くから聴くへ～

6月29日付学校便り「けやき」の巻頭言で「まもなく梅雨明けです。」と記したその日に「梅雨明け宣言」が出されました。1951年の統計開始以来、6月中に関東甲信地方で梅雨明けとなるのは今年が初なのだそうです。教室は冷房がきいているので快適に学習することができますが、教室から一步出ると胸苦しくなるような熱気が満ちています。熱中症には十分気をつけ、1学期末を過ごしていきたいと思えます。

さて、6月の全校朝会では、子どもたちのこれまでのがんばりを写真で振り返りました。どの学年の子どもたちも、学習や様々な活動を通して素晴らしい輝きを見せてくれました。そして、最後に子どもたちに話したことは、「心できける子になろう」ということです。

私は、学力や体力の向上・心の成長の基本となる力は「きく力」だと考えています。どんなに重要な話でもどんなに良い話でも、聞いていなければ意味がありません。また、言葉として聞くだけでは内容の理解を深めることは難しいでしょう。聞いたことを学力や体力の向上・心の成長に繋げるためには、子どもたちが心を開いて話を聞き、素直に受け止め実行していくことが大事だと思います。子どもたちには、「『聴く』という漢字は、耳と十四の心と書きます。耳はもちろん、心で話を聞きましょう。素直な心で話を聞いた時、話の中身が心の中に入っていったら、頭も体も心も伸びていきます。心で話を聞ける子になりましょう。」と約束をしました。

さて、「話が聞けない」の原因の一つに姿勢保持力の低下があります。良い姿勢を一定時間保持するだけの筋力がないために、椅子にしっかり座れずに姿勢が崩れてしまうのです。また、睡眠不足も大きな原因の一つです。（「12時過ぎに就寝をする」「夜中の2時・3時までゲームをしていた」等の話を子どもたちから聞き、それでは眠くて集中できないのは当然だろうなあと思います。）そこで、まずはご家庭で食事の時間の姿勢を見直してみてもいいでしょうか。毎日の食事の時間の活用は一定時間良い姿勢を保つ習慣を付けるために効果的です。睡眠不足解消のためには早寝・早起き等規則正しい生活リズムを作ることが不可欠です。

学校では子どもたちが興味関心を持って学習に取り組んでいけるように授業の工夫・改善に取り組んでいます。また、教師自身の話術を磨くことにも努力をしています。そして、子どもたちが心を開いて話を聞けるように一人ひとりの児童理解に努めています。ご家庭でも、どうぞ「姿勢保持」「睡眠不足の解消」へのご理解・ご協力をお願いいたします。何よりも、子どもたちの学力や体力の向上・心の成長のために！



学校で指導している基本の姿勢

授業参観・学級懇談会開催

6月29日(金)一学期末の授業参観と学級懇談会を開催しました。お忙しいところご参加頂きありがとうございます。進級して3ヶ月、子どもたちの成長の様子は見られましたでしょうか。緊張している子、照れている子、はりきっている子、テンションが上がってしまった子など参観日の子どもたちからはいつもと違う様子が見られます。(勿論、同じ様子の子もいますが。)ご家庭では、学校の話はされましたでしょうか?

子どもは、親が本気で喜ぶ方へ伸びていきます。(学校便り「けやき」6月号巻頭言より)学校へおいでの際は、お子さんのがんばりを一つでも見つけそれをほめてあげてください。姿勢であったり、発表だったり、友達との交流の仕方であったり、掲示物であったり・・・人と比べるのではなく、お子さん自身の変化を温かく見取ってあげてください。ほんの少しの変化でいいのです。「発表の時、前はもじもじしていたけれど、今日は少し前を向いて発表ができていたね。ママは嬉しいわ。」・・・参観日は必ず叱られる、というお子さんは参観日は嫌いです。参観日は、お子さんのがんばりを見つける日です。本気でよいところを見つけて本気でほめてあげると、きっとその方向に伸びていくと信じています。



子どもは星

どの子も子どもは星
どの子も子どもは星

みんなそれぞれがそれぞれの光を
いただいて

まばたきしている

ぼくの光を見てくださいと

まばたきしている

わたしの光も見てくださいと

まばたきしている

光を見てやろう

まばたきに忘れてやろう

光を見てもらえないと子どもの星は

光を消す

まばたきをやめる

まばたきをやめてしまおうとしはじ

めている星はないか

光を消してしまおうとしはじめてい

る星はないか

光を見てやろう

まばたきに忘れてやろう

そして

天いっぱいの子どもの星を

かがやかせよう。

『東井義雄詩集』(花神社)より